

WS-C2960X False %ILET-1- DEVICE_AUTHENTICATION_FAIL:SFPアップ リンクでのメッセージとリンクアップなし

内容

[概要](#)

[問題](#)

[問題 1](#)

[問題 2](#)

[問題 3](#)

[解決方法](#)

[問題 1](#)

[ワンタイムハードブートが必要な理由](#)

[ソリューション履歴](#)

[問題 2](#)

[問題 3](#)

[回避策](#)

[問題 1](#)

[問題 2](#)

[問題 3](#)

概要

このドキュメントでは、Catalyst WS-C2960Xモデルスイッチに固有の3つのソフトウェア不具合について説明します。Cisco Bug ID CSCul88801、[CSCur56395](#)、[CSCut535999](#)、および[Field Notice 64175](#)。また、Cisco Bug ID [CSCuu00752](#)および[Field Notice 63972](#)に詳細なハードウェア問題についても説明しています。

問題

問題 1

Cisco Bug ID [CSCul88801](#)、[CSCur56395](#)、および[CSCut53599](#)のソフトウェアの不具合により、次の症状が1つ以上発生する可能性があります。

- 2960Xスイッチ自体またはFlexStack Plusモジュール(C2960X-STACK=)に対して、「%ILET-1-DEVICE_AUTHENTICATION_FAIL:」メッセージが表示されます。
- SFP/SFP+(Small Form-Factor Pluggable)アップリンクがリンクアップしないか、**showコマンドの出力に表示されません**。これは通常、スイッチのリロード後、またはSFPまたはFlexStackモジュールの活性挿抜(OIR)後に発生します。
- SFPエラーメッセージ : hulc_sfp_iic_intf_read_eeprom sfp_index 1 yeti_iic_read_retry fail
POST:ACT2認証 : 終了、ステータス失敗。

この問題は、内部i2cバスがbad状態になる場合に関係しています。リリース15.2(2)E4、15.2(3)E3、および15.2(4)E以降のイメージには修正が加えられていますが、アップグレード前にバスがすでに障害状態であった場合、スイッチの電源をオフ/オンするためにハードブート（電源ケーブルを抜く）が必要です。コードのアップグレード手順自体が、イメージをロードするためにソフトブートを開始しますが、バスはそのプロセスを通じて電力を維持するため、既存の不良バス状態がクリアされない可能性があります。ハードブートの後に問題が解決されると、リリース15.2(2)E4、15.2(3)E3、および15.2(4)E以降では、将来のリロードや停電時にも問題が再発しないようにできます。スイッチでこの問題がまだ発生していない場合は、ハードブートを使用せずにリリース15.2(2)E4、15.2(3)E3、および15.2(4)E以降にアップグレードすれば、将来この問題を回避できます。

ソリューション履歴

Cisco Bug ID [CSCut53599](#)は、リリース15.2(2)E4、15.2(3)E3、および15.2(4)E以降で修正されています。この修正により、i2cバスの安定性も向上しました。

Cisco Bug ID [CSCul88801](#)および[CSCur56395](#)は、ソフトウェアリリース15.0(2a)EX5以降で修正されています。Cisco Bug ID [CSCur94280](#)は、ソフトウェアリリース15.2(2)E2および15.2(3)E1以降に同じ修正を追加しました。

[Field Notice 64175](#)は、この問題についても参照できます。

問題 2

- 問題1のソリューションが適切であることを確認します。
- FlexStack ILETメッセージが続く場合は、FlexStack Plusモジュール(C2960X-STACK=)を交換する必要があります。[Field Notice 63972を使用すると](#)、Cisco Bug ID [CSCuu00752の影響を受ける特定のFlexStack Plusモジュールのシリアル番号を事前に確認でき、交換の手順も示します](#)。この問題の影響は、インストールベースの0.03 %未満であることを注意してください。

問題 3

- にC2960X-FIBER-STKまたはC2960X-HYBRID-STK FlexStack拡張モジュールがインストールされているC2960Xスイッチで、15.2(6)E以降のソフトウェアが稼働していることを確認します。これは、これら2つのモジュールタイプをサポートするために必要な最低限のソフトウェアです。

回避策

問題 1

- SFPアップリンクとハードブート（スイッチの電源をオフ/オンにするには電源ケーブルを抜く）を取り外して、スイッチを一定期間回復します。
- SFPのアップリンクをスイッチから取り外し、ダウンリンク銅線ポートのみを使用します。
- スイッチ/スタックからRPSを取り外し、スタックの電源を再投入し、RPSが接続されていない状態で稼働させます。

問題 2

- なし

3

- なし